

学生・企業・地域でつくる・未来のカたち

地域共創型AI探求プロジェクト

～生成AIで地域課題を探求し、信州の未来を共に創る

産学連携公開講座：生成AIで描く「地域の未来」探求ワークショップ



「AIを使って、地域を知る・対話して、未来を描く。」

企画趣旨・ねらい

清泉大学の学生と地域の高校生が、長野県情報サービス振興協会（NISA）の会員企業の若手・中堅社員と交流しながら、生成AIを活用して地域課題の解決策を【探求】する特別なワークショップです。世代や立場を超えた対話を通じて、これからの地域の魅力と自身のキャリア観を再発見します。

【プロジェクトが大切にする5つのアプローチ】

多彩な参加者

大学生・高校生・企業
人がフラットに共創

地域課題の探求

信州のリアルな課題を
データで深掘り

生成AIの活用

AIを相棒にアイデアを
形にする

共創と交流

真摯な対話を通して繋
がりを生む

未来への行動

生まれたアイデアを地
域社会へ繋げる

日時

2026年8月5日（水） 申込期限：7月17日（金）

13:00～16:30（交流会【軽食あり】を含む）

会場

清泉大学 上野キャンパス 【駐車場あり】

※実施教室は当日受付にてご案内いたします。

対象・規模（応募者多数の場合、先着申込順となります）

約50名想定（大学生・高校生・NISA会員企業社員・アドバイザー）

（教職員の方は、見学のみ可能です）

参加申込はコチラ



個人情報は本イベ
ントの運営のみに
使用します

主催：長野県情報サービス振興協会（NISA）事業開発委員会

清泉ワクスマ・プロジェクト（清泉大学）

後援：長野県

一人ひとりの想いが、地域の未来を動かす力になる。

本ワークショップの3つの柱

学ぶ

生成AIの最新活用事例と、探求学習のプロセスを実践的かつ体系的に学びます。

つながる

大学生・高校生・社会人が対等な立場で本音で対話し、キャリア観や地域の魅力を再発見します。

つくる

AIを強力なツールとして使いこなし、地域の未来を豊かにする革新的なアイデアを共創します。

事前提示：探求テーマ（お題）

特定のテーマへの偏りを防ぎ、多角的な視点での共創を促すため、当日のグループ分け後に「くじ引き」にて担当テーマを決定します。

テーマA

多文化共生×AI

言葉と文化の壁を超える！
～インバウンド・海外人材と
創る「新・信州ライフ」～

テーマB

地域創成×AI

若者の感性×シニアの知恵
～AIで見つける「地域の新しい
絆」～

テーマC

行政サービス×AI

もしも、AIが頼れる相談役に？
～住民の“わがまま”から始まる
最高の地域サービス～

当日のプログラム構成（180分）

時間	プログラム項目	内容・進め方
13:00 (5分)	① オープニング	趣旨説明、チーム内でのアイスブレイクを行います。
13:05 (15分)	② ミニ講座	探求学習の進め方・地域課題のを見つけ方とAI活用の視点を学びます。（片瀬教授）
13:20 (60分)	③ AI 探求ワークショップ	混成チームで実施。ノートPCと生成AIと対話しながら解決策を探求します。
14:20 (10分)	— 休憩 —	リフレッシュタイム
14:30 (30分)	④ プレゼン発表	探求プロセスとアイデアの共有。代表グループが発表を行います（1グループ×各5分を想定しています）
15:25 (50分)	⑤ 交流会（キャンパス内）	軽食を囲み、学生・生徒の本音と企業のリアルを繋ぐ、自由なキャリア・地域トーク交流会。
16:05 (10分)	⑥ 全体講評／閉会	受賞者発表、表彰、専門的知見からのフィードバック。

グループ編成と役割について

1グループあたり5～6名の全8チームの混成構成。企業若手社員(2名)が司会、大学生(2名)がPC入力、高校生(1～2名)がアイデア出しを担います。アドバイザーが巡回し支援します。

【お問合せ先】 清泉大学・人文社会科学部・情報コミュニケーション学科 片瀬拓弥（教授）
連絡先：katase@u-seisen.ac.jp